

今、何の病気が流行しているか！

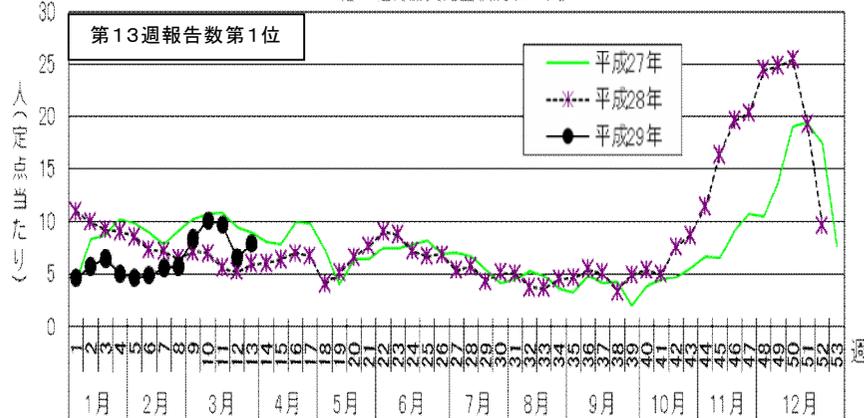
【感染症発生動向調査事業から】

平成29年3月27日（月）～平成29年4月2日（日）〔平成29年第13週〕の感染症発生状況

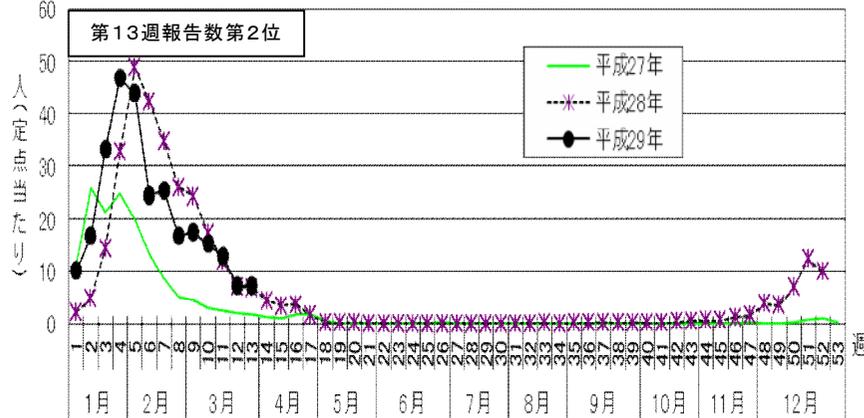
第13週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 流行性角結膜炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は7.86人と前週（6.56人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は7.40人と前週（7.28人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.11人と前週（1.44人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



流行性角結膜炎（はやり目）にご注意ください！

川崎市では現在、流行性角結膜炎の報告数が非常に多くなっています。特に、平成28年4月以降の患者数の増加が顕著で、年齢を問わず流行がみられています。

目やにが出たり、目の充血などがみられた際には、こすらないように注意して、早めに眼科を受診しましょう。

流行性角結膜炎はどんな感染症？

病原体：アデノウイルス

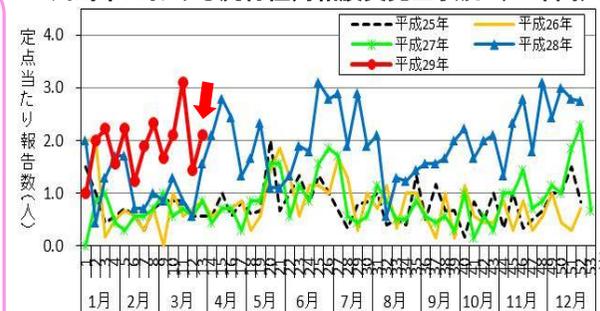
感染経路：接触感染（感染力が強い）

潜伏期間：8～14日間

好発年齢：1～5歳を中心とする小児に多いが、成人を含めて幅広い年齢層にみられる。

症状：涙が出る、目やにが出る、まぶたが腫れる、目が充血するなどの症状を伴い突然発症する。乳幼児では細菌の混合感染により重症化することもあり、場合によっては失明することもある。

川崎市における流行性角結膜炎発生状況（5年間）



予防方法

- 目やには直接手で触れず、ティッシュなどでふき取る。
- 手洗いを徹底する。
- タオルなどの共用は避ける。

